

# 川合産婦人科



## Four seasons news letter

出版元

医療法人川合産婦人科 事務局 愛知県名古屋市西区坂井戸町 191 TEL:052-502-1501

季節のお便り

### 妊娠第18週目（5ヶ月目） 旅行するなら今がチャンス！

体重150〜200g、大きさは17ミリ（十一20ミリ）に成長しました。筆箱に入れていたあの物差し程度の大きさ。大きくなってきましたね！

出産後、家族が1人増えれば、しばらくはずーっとつきつきりになります。初めてのお子さんの場合は、今のうちに夫婦2人ライフ楽しんでおきましょう。この時期の旅行は本当に記念になります。出産間際はママの体力が厳しく、早産の可能性もあるので旅行は難しくなります。17週から26週がベスト。もしお泊り旅行の際は、念のため当院長に相談して、注意点を聞いてから計画しましょう。



旅行のチャンスだよ♪

赤ちゃんはこの時期にアイデンティティを作ります。生涯消える事のない指紋です。映画MITや007に出演すれば、指紋認証が可能でセキュリティを突破できます（そんな事はできませんが）。

子宮も大きくなってきて血管を圧迫しています。立ちくらみも出てくる時期です。心臓も妊娠前の「倍」活躍しています。家事や仕事での急な動きは避けて、こまめに休憩を取るようにしましょう。

### 「妊娠期間中のインフルエンザについて」 薬を飲むべきか？自然治癒か？

素人判断がもっとも危ない

妊娠期間中ご家族の方がインフルエンザを発症すると、本当に気が落ち着きません。第1子が学校に通っている場合や旦那様が接客や出張が多い場合、流行ウィルスをもたらしてしまう確立も高くなります。接客するなど営業するなども言えないので、マスクや手洗いうがいを徹底し、予防を怠らないように注意するしかありません。しかし、どんなに注意していても発症することもあります。ご家族がインフルエンザを発症した場合、発症した時点で菌が家中に蔓延している可能性が否めません。換気とお掃除をした後、加湿をする事で減菌が期待できます。減菌と同時に、インフルエンザを発症したご家族を隔離するか、ご自身が実家に帰省する等の対策が望めます。それでも、ご自身も発症した場合、妊婦さんのインフルエンザ症状で一番やっかいなのは「高熱」です。インフルエンザを発症すると、短期間で39度以上の高熱が出ます。これは胎児にとっても危険な状態となりますので、速やかに

熱を下げる必要があります。その熱をブロックするのが、タミフルやイナビルといったお薬になります。副作用や胎児への影響についての文献を読むと、確実に安全であるという事は書いてありません。従って、一定のリスクが多くなります。当院では、赤ちゃんを考えます。副作用の少ない漢方薬を処方しますが、母体状態が高熱であり且つ、胎児を危険な状態から守る事が薬の副作用のリスクより優位性がある場合、抗インフルエンザ薬を処方します。

#### もっと身近な

#### 川合産婦人科を目指して

当院はこの名古屋市西区で45年間、お母さんの代からお孫さんまでをサポートするために産婦人科として営んでまいりました。時代と共に環境は変わって参りますが、当院は親切・丁寧をモットーにみなさまへ貢献できればと存じております。

当院は本年度よりホームページを活用して、様々なお知らせを発信してまいります。